

平成 30 年度第 1 回庄原市初任者研修会

平成 30 年 4 月 18 日（火） 庄原市役所 3 階 防災対策室

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭 8 名，中学校教諭 4 名，養護教諭 3 名，主事 2 名】

【講話】「学びと誇りが実感できるまち」

庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

【概要】

< 子供のこと >

常に子供たちのことを考えて、実践を行うこと。学びたくて、伸びたくてたまらないと思っている子供たちが学校にいる。子供たちに教育的愛情をしっかり注いでいただきたい。「庄原で学んで良かった」さらには、「庄原で学びたい」と思う児童生徒、保護者を一人でも増やしてほしい。そのために、次の 3 点を心掛け、指導にあたること。

- ① 学校、教員との良き出会いをつくる。
- ② 子供同士の良き人間関係をつくる。
- ③ 学校、家庭、地域と一緒に教育活動を行う。

< 基本姿勢について >

自らを磨いて、自ら成長しようとしているかについて常に振り返ってほしい。社会人として、次の 3 点に留意すること。

- ① 期限を守る。見通しをもった仕事をする。
- ② 誠意をもって取り組む。
- ③ 「何のために今の仕事を行うのか」を意識して実践すること。



(参加者の振り返りより)

- ◆ 庄原市のよいところを実際に自分の目で見て、よさを感じ、子供たちの学習や未来につなげていきたい。
- ◆ 「学校は子供たちの希望である」という言葉が心に残った。子供たちが学びたいと思えるような授業や学級経営を行うために、学び続ける教員でありたいと思った。
- ◆ 最も大切な姿勢は、「絶えず自らを磨き、自ら成長していく姿があるかどうか」であると感じた。これから、たくさんの方に挑戦していきたい。

【講話・演習】「児童生徒、保護者への適切な対応」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 赤木 一成

【概要】

保護者への対応については、日常的に連携を図るとともに保護者の思いを十分に受けとめて対応すること。また、生徒指導の意義や目標を踏まえ、児童生徒に自己指導能力を育成するとともに、問題行動への早期対応を適切に行うこと。(報告・連絡・相談・複数対応，早期対応，早期家庭連携)



(参加者の振り返りより)

- ◆ 生徒指導は、子供を育てるチャンスだと思って、取り組んでいきたい。
- ◆ 児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、一人一人に応じた指導をすることが必要であると感じた。
- ◆ 保護者は、児童を通して教師を見ているのだと感じ、保護者と児童を別々に考えるのではなく、すべてが児童の姿に表れると思って、日々、児童生徒、保護者への対応をしていきたいと思った。